

【今月の目標】



- 食事、排泄、着脱など身の回りのことを自分でしようとする。
- 身近な素材をちぎったり貼ったりして、手指を使うことを楽しむ。
- 音楽に合わせて体を動かし、お友達と踊ることを楽しむ。
- 発表会に楽しんで参加する。

《先月の子どもたちの姿と保育者の関わり》

**チューリップ**の球根を植えました。一生懸命土を運び、栄養のある土と肥料を混ぜ、ふるいにかけてフカフカの土を作りました。そして球根を目にすると、「なに？たまねぎみたい。」「くり！くり！」とイメージのままの素直な表現が愛らしく感じられました。チューリップの写真付きの本を見ながらお話をすすめてきましたが、球根からチューリップの花が咲くということは、なかなかイメージができないようで不思議そうな表情を浮かべていました。花咲く春が楽しみです。



**色づいた葉**に、季節を感じながら過ごしました。お散歩やつぼみグループの道中で、色づいた落ち葉を見つけると「見て！キレイ！」と目を輝かせて、拾い上げる子どもたちの姿がとても可愛らしかったです。戸外遊びをしている時には、浦町公民館のすぐ近くにある枝垂桜が風に吹かれて散っている秋らしい場面に遭遇しました。「わー落ちてきた！」と歓声をあげたり、葉っぱを踏んづけた時に出る「ザッザッ」という音が気に入り、何度も葉の上を歩いたり、拾った葉っぱを大切にポケットにしまったり、その楽しみ方は十人十色でした。

**身のまわりのこと**に、一生懸命取り組んでいます。トイレトレーニングや食事はもちろん、靴や上履き、靴下を自ら履いたり、帽子を被ったり、色々なことができるようになってきています。最近では、お昼寝前に脱いだ洋服を、上手に畳めるようになってきました。「自分で！」という意欲を大切に、例え上手にできなかったとしても、そのチャレンジしてみようという気持ちを受け止めて、認めていく中で、それぞれの自信や意欲へとつなげていければと思います。

**さつまいも**を収穫しました。7月に植えた苗が立派に育ち、収穫の時期を迎えました。立派に成長した大きな葉に期待は膨らみ、「おおきなかぶ」の絵本を読んできた子どもたちは抜く気満々。「うんとこしょ！どっこいしょ！」と勢よく引っ張った先にあっちは、長細く小ぶりなお芋ばかりでしたが、子どもたちは大ききよりもお芋が獲れたことに喜んでる様子でした。収穫したお芋は焼き芋にしたり、蒸しパンにしたり、みんなでおいしくいただきました。



**12色のクレヨンの中に「白」**を発見した子どもたち。白い画用紙に一生懸命描こうとするも、白色は出ず、「白は描けないの？」と新たな気付きがありました。そこで絵の具という名の魔法を掛けてはじき絵にすると、浮き出る白色に思わず笑顔になる姿が見られました。「これはおもしろい」と言わんばかりに、絵の具のついた刷毛を何度も何度も動かし、はじく様子を楽しんでいました。その後のクレヨンのお絵描きをした時にも、「魔法かける？」とすっかりはじき絵の虜になった様子でした。

《これからの保育と保育の取り組み方》



■生活

外出からの入室時には手洗いやうがいの仕方を伝えながら、いっしょに行っていきたいと思っています。また、生活の中で「次は何をするのか？」子どもたちなりに生活の見通しをたてて活動できるように、言葉がけや、子どもたちの動線の取り方を保育者同士で話し合い工夫していきたいと思っています。

■遊び

「おおきなかぶ」や「ピーマンマン」の音楽に合わせて、踊ることをとても楽しんでいるので、発表会ごっこを楽しんでいきたいと思っています。また、今月は、固定遊具のある城山第三公園動や、広いスペースの二ノ丸広場に出かけ、解放感の中で体を動かすことの楽しさを伝えていければと思います。また、最近よく聞かれるようになった「〇〇したい！」という子どもたちの声も大切にしながら、時には遊びを変更したり、子どもたちがよりいきいきと遊べる楽しい空間を作っていきたいと思っています。

.....お願い.....

- 引き続きトイレトレーニングで着替える機会が多くなるかと思っておりますので、持ち帰った分補充をお願いいたします。
- スモックの着用と、ポケットに薄手のハンカチの準備をお願いいたします。
- 爪が伸びているとケガの原因になることもあるので、こまめにご確認をお願いいたします。



【今月の目標】

- やりたい意欲を受け止めながら、食事、排せつ、着脱を保育者と一緒にやってみる
- 歩く、走る、跳ぶ、登る、くぐるなど、全身を使った遊びを楽しむ
- 秋の自然や木の実、虫などいろいろなものにふれて遊ぶ

○先月の子どもの姿と保育者の関わり

外であそぶの大好き！！

だんだんと寒くなってきましたが、日中の暖かい時間帯に散歩に出掛けたり、午後から二の丸広場に行ったりしてたくさん身体を動かしてあそびました。保育者と手をつないで歩くことが上手になり、道で猫や犬を探したり、周りの景色をよく見て、様々な発見をしては、保育者に身振り手振りで伝えたり、「これなにー？」「あれは？」と質問して、言葉でのやりとりをしながら散歩を楽しんでいます。また散歩車からは、「僕も景色を見たいー！」とおしりを上げて顔を出し、はりきって電車に手を振る姿も見られました。二の丸広場までは、交代で手をつないで歩き、道行く人に「えらいねー！」と声をかけられると少し照れくさそうにしながらも、ハイハイと手を振って応えていました。広場では大切に持っていった風船に紐をつけて、ヨーイドンで勢いよく走ってとばしました。楽しんでいる途中でバン！と風船が割れてしまうと、「あれ？」とビックリしながら、風船を見つめるお友だちもいました。声を出して笑いながらしっかりと走る姿や、つかまり立ちで移動しながら保育者のところへ近づく姿に、それぞれ子どもたちの成長を感じ、とても嬉しく思いました。



大好き絵本！

活動の合間に保育者に読んでもらう様々な絵本や、くうちゃん絵本が大好きな子ども達は、座って真剣にお話を聞いています。何度も読んでいるお話だと、覚えている子どもから次の展開を先に教えてくれたり、質問にははりきって答えたり、保育者の動き見て一緒に真似してみたり、言葉を繰り返して発音したりしながら毎日楽しんでいます。子ども達から「お話読んでー！！」とリクエストをもらうことも！絵本を通して言葉でのやりとりや、発語を促していきながら、子ども達からの反応を楽しみながら読んでいます。また子ども達は、保育者の膝で読んでもらう絵本も大好きなので、一対一で関わる時間も大切にしていきたいと思っています。

種まき

みんなでさやえんどうの種まきをしました。土に保育者が指で穴をあけていると、「何やっているのー？」と鉢を覗き込んだり、鉢につかまって思い切り手を伸ばし土を触ろうをしたりするお友だちも……。穴の中に上手に種を落として、「お布団掛けようね」と土をかける保育者の真似をして、優しく土をかけてあげていました。数日後・・・鉢を見るとちょこんと芽が出ていました。「大きくなーれ！お水をあげようね」と言いながら、お散歩の後にお水をあげて覗き込んでいました。



○これからの保育の取り組み方と保育者のかかわり

散歩や戸外遊びが大好きな子ども達なので、日中の暖かい時間には、手をつないで様々な発見を楽しみながら歩いてみたり、散歩車からの景色を楽しんだり、ラスカの屋上庭園や二の丸広場では、走ったり、かくれんぼを楽しんだり、つかまり立ちで移動したり、それぞれの子どもが思い切り全身を使って遊べるような機会を多く作っていきたく思います。また、毎月のくうちゃん絵本や様々な絵本の読み聞かせで、保育者と一緒に読みながら、言葉を真似してみたり、キャラクターのしぐさを一緒に真似してみたり、質問に答えてみたりしながら、発語を促したり、言葉でのやりとりをじっくり楽しんでいきたいと思っています。着脱や片付けなど、それぞれの子どもが出来ることをやってみようと、積極的に取り組む姿が多く見られるようになってきました。出来るかと保育者と嬉しそうに「できタッチ！」をしています。自分でやろうとする気持ちを大切に、じっくり楽しんで取り組みながら、次もやってみようと思えるような声掛けや関わりを工夫していきたくと思っています。



【今日のこと】

- 室内外の気温に留意し、体調、状態に合わせてなるべく薄着を元気に過ごす。
- 身の回りの物や自然に触れる機会を通して、いろいろなものに触れられるようにし、探索活動を楽しむ。



■先月の子どもの姿と保育者のかかわり



布遊び・・・

布遊びでは、布の上に座って保育者が引っ張り「ブプー」と言いながらドライブ気分楽しんでいました。お人形を使って自分で引っ張っている子もいました。また布を頭につけて、ごちそうを布の中に詰め保育者がカバンを作り、お母さんのように肩にかけてお買い物をして楽しんだりもしています。布引っ張りでは箱の中から布を何度も引っ張り、終わると自分でまた中に戻してもう一度行ったり、「あっ！あっ！」と言いながら終わったことを教えてくれる子もいました。



お着替え・・・

パジャマに着替える時やお散歩に行くときなどに、保育者が半分ズボンを上げたり、下げたりすると残りは自分で履こうとする子どもの姿が見られてきました。靴下も自分で履こうと頑張っている子がいました。まだ保育者のお手伝いが必要ですが1人1人丁寧に見ていきたいと思ひます。



シールぺったん、お絵かき楽しいな・・・

台紙からシールをはがすことは難しいので、少しだけ保育者がめくってあげると、手にシールがくっついてしまひながらも上手にペンやクレヨンでお絵かきをした紙の上に貼ることが出来ました。貼ることを楽しむ子もいれば、まだ“貼る”ということよりも“はがす”ことが楽しいと感じる子どももいて反応は様々でした。

お絵かきにいつも使用しているのは“お野菜クレヨン”というもので、万が一お口に入れても安心なのでいつもお野菜クレヨンを使っています。ただ、筆圧が強くないすみれさんは気に入らないのか、ポイポイツと床に投げ、よく出る水性ペンの方が大好きです。

■これからの保育の取り組み方と保育者のかかわり

お散歩では、引き続きラスカ屋上にて体を十分に動かしていきたいと思ひます。園周辺などでは落ち葉がたくさんあるので、自然に触れる楽しさを保育者と一緒に楽しみつつ季節の変化等も感じていけるような散歩にしていきたいと思ひます。また、靴を履いて歩く練習も先月より始めておりますので、保育者と一緒に手をつなぎ安全に気を付けながら靴を履いての歩くお散歩も他も死んでいきたいと思ひます。

室内では、保育者がじっくりと丁寧に関わられるような遊びを取り入れていきたいと思ひます。また言葉もたくさん出てきているように感じているので、絵本を読み聞かせしたりしながら、さらに言葉が増えていけるようにしていきたいと思ひます。また布遊びも小さな布を使ったり、大きな布で音楽に合わせてヒラヒラさせてみたりと工夫しながらじっくり遊びこんでいきたいと思ひます。

